

件名	堺市生物多様性メールマガジン vol.87
配信日	11月1日(月)
内容	<p>【イベントのお知らせ】</p> <p>12月5日に堺市獣医師会主催「大阪湾の生きものたちのいま・むかし」が Zoom による Web 配信で開催されます！</p> <p>大阪市立自然史博物館友の会会長 鍋島靖信氏を講師としてお招きし、上記の講演会を計画しています。</p> <p>近年、大阪湾の海洋生物に大きな変化がみられます。鍋島氏が1977年に大阪府立水産試験場に着任以来、大阪湾の生物や特異な現象を調査した記録から、大阪湾での過去と現在の生物の変化について紹介します。水温は1980年代に低く、1994年以降に上昇が顕著になりました。特に秋～冬の水温上昇が著しく、これが生物に大きな影響を及ぼしています。瀬戸内海には冬の低水温に強い生物が多産し、暖水を好む生物が夏～秋に漁獲されましたが、これらの漁獲量に大きな変化がみられます。</p> <p>イカナゴ、マコガレイなどの冷水性種の漁獲は激減し、ハモなどの暖水性種が増加し、ヒョウモンダコなど強い毒をもつ生物が出現し、ミナミハンドウイルカが6年も住み続けるなど、過去の大阪湾に見られなかった生物が増加しています。</p> <p>(日時)令和3年12月5日(日)14～16時 (場所)ZoomによるWeb配信 (対象)小学生以上の堺市民 80組 (申込期間)11月1日～11月30日</p> <p>詳しくは https://www.sakai-ikimono.jp/events/view/124 をご覧ください。</p>